

「教育実習を振り返って」

[公立中学校 社会]

私は〇〇県の〇〇中学校で教育実習をさせていただきました。〇〇中学校は私の母校でしたが、私が在学していた頃とは学校の雰囲気が変わっていたことに非常に驚きました。私が在学していた頃は教師と生徒の上下関係がしっかりとしており、生徒が教師に対して敬語で話すことは当然でした。しかし、現在は生徒と教師の距離が非常に近くなっており、教師に対して敬語を使わないようになっていました。これに関しては、メリットもデメリットもある部分だと感じました。生徒と教師の距離が近くなることで、生徒が話しかけやすくなったり、生徒本来の姿を見ることが出来る反面、生徒と教師の間の最低限の上下関係が失われているようにも感じました。

私は3年生を担当していました。授業は公民に入っており、自分の専門科目を生かすことのできない科目でした。そのため教材研究や授業準備に非常に時間がかかってしまったことが1番の反省点です。授業では、主にプリントとパワーポイント、実際の映像などを見せながら生徒の興味を持続させることができるように努力しました。実際の現場ではモニターやプロジェクターなどデジタル化が進んでいることに非常に驚きました。自分が学生として授業を受けていた頃は使用していなかったので、授業の仕方自体が変わっておりいろんな形を試すことができたと思います。自分の授業がない時間には、他のクラスや学年の授業を見学させてもらいました。教師によって授業の形やこだわりが異なっており、教師によって様々なやり方があることが分かりました。また学年やクラスによって雰囲気や授業の食いつきにも違いがあり、その学年、クラスによって授業のやり方を変えていくことも大事だと考えました。また、最終週は45分授業だったため授業が間に合わなかったことが多く、従来の50分授業との5分の差が大きいことを感じました。

また一度道徳の授業をやる機会を設けていただきました。いろんな先生に意見をいただき1時間授業を行いました。非常に難しかったです。生徒たちの多様な意見を広げることがあまりできず、また自分の考え方や意見をどうしても押し付けてしまいました。道徳は正解のない授業なので、経験を積んでいくことでより良い授業していけるのではないかと考えました。

授業以外では部活動などにも参加させていただきましたが、やはり生徒と教師の距離が近くなっていることにより指導しにくい部分がありました。自分の思い描いていた部活動の雰囲気とはギャップがあり、難しく感じました。また、他にも生徒同士のSNSでのトラブルを発端とした喧嘩などが発生し、担当の先生がその対応に追われたり、家庭訪問を行ったり、生徒の保護者が来校するなど授業やクラス運営以外の教師の仕事という部分を垣間見ることができ、教師の見えていない部分の仕事を見ることができ良い経験ができたと思います。

今回の教育実習では全体的に自分の知っている教師の仕事とのギャップや時代の移り変わりを感じることができた教育実習だったと思います。担当の先生が生徒との関係を築くコツや色々なお話を聞くことができ、とても感謝しています。何より現場で実際の生徒に授業をして、たくさんの教師の方々や生徒と関わることができたことが良い経験だったと思っています。教師という仕事の楽しいところ、苦しいところどちらも体験することができる素晴らしい機会でした。これからの自分の糧にしていきたいと思っています。